

消防計画作成（変更）届出書

二部提出

令和〇〇年〇〇月〇〇日

遠賀郡消防長 殿			
<input checked="" type="checkbox"/> 防火 管理者 <input type="checkbox"/> 防災			
住所 福岡県〇〇市〇〇〇丁目〇-〇			
氏名 遠消 太郎			
別添のとおり、 <input checked="" type="checkbox"/> 防火 管理に係る消防計画作成（変更）したので届け出ます。 <input type="checkbox"/> 防災			
管理権原者の氏名 （法人の場合は、名称及び代表者氏名）	〇〇町 町長 消防 一郎		
防火対象物 又は 建築物その他の工作物の所在地	福岡県遠賀郡〇〇町〇〇〇〇-〇		
防火対象物 又は 建築物その他の工作物の名称 （変更の場合は、変更後の名称）	〇〇町立 遠消 小学校（仮使用）		
複数権原の場合に管理権原 に属する部分の名称 （変更の場合は、変更後の名称）			
防火対象物 又は 建築物その他の工作物の用途 ^{※1} （変更の場合は、変更後の用途）	小学校	令別表第1 ^{※1}	（ 7 ） 項
その他必要な事項 （変更の場合は、主要な変更事項）	工事中の消防計画作成（仮使用の為）		
受付欄 ^{※2}	経過欄 ^{※2}		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 □印のある欄については、該当の□印にレを付けること。
3 ※1欄は、複数権原の場合にあつては管理権原に属する部分の情報を記入すること。
4 ※2欄は、記入しないこと。

(〇〇町立 遠消 小学校 (仮使用)) 消防計画

第1条 工事計画及び施工

(1) 工事概要

〇〇町立 遠消 小学校(耐火4/0)1階に給食センターが入居することに伴う内装改修(天井・床・壁張り替え)、厨房設備の設置、空調設備の設置及び消防用設備等(屋内消火栓設備、自動火災報知設備、非常警報設備、誘導灯)の工事を行う。

ア 用途変更に該当 (有) ・ 無)

イ 用途変更に伴う確認申請 (有) ・ 無)

(2) 工事工程表(別紙1)のとおり ※工事期間が明確となるもの

(3) 工事範囲(別紙2)のとおり ※平面図に図示したもの

(4) 機能に支障を生じる消防用設備等 (有) ・ 無) (別紙3)のとおり

(5) 機能に支障を生じる避難施設等 (有) ・ 無) (別紙4)のとおり

(6) 火気を使用する設備・器具(以下「火気使用設備・器具」という。)等の使用 (有) ・ 無) (別紙5)のとおり

(7) 危険物等を取り扱う作業 (有) ・ 無) (別紙6)のとおり

(8) 連絡先

〇〇〇〇株式会社 社長 〇〇 〇〇 (〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)

現場事務所 (〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)

(9) 緊急連絡先

工事施工責任者 〇〇 〇〇 (〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)

(10) その他

内装工事 (株)〇〇〇美装 担当責任者 〇〇 〇〇 (〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)

空調設備 〇〇〇〇株式会社 社長 〇〇 〇〇 (〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)

消防用設備等 (株)〇〇防災 工事主任 〇〇 〇〇 (〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)

第2条 工事中の防火管理体制

(1) 出火防止対策

ア 日常の火災予防

(ア) 防火担当責任者及び火元責任者は、「日常の火災予防組織」(別紙7)により任務を指定し、それに従い日常の火災予防を行う。

(イ) 火元責任者は、「日常の自主検査チェック表」(別紙8)を用いて、担当区域内の日常の火災予防について自主検査を実施する。

(ウ) 火元責任者は自主検査の結果、異状が認められた場合は、防火管理者及び防火担当責任者に報告するとともに、不備を改修し、再発防止に努めるものとする。

イ 放火防止対策

(ア) 建物の外周部や屋外階段には、可燃性の工事用資材又は梱包材等は置かないようにする。やむを得ず置く場合は、整理整頓し、難燃性シート等で覆い保管する。

(イ) 工事関係者以外の工事部分等への立ち入りを禁止する。

ウ 喫煙管理

(ア) 喫煙は指定する場所（以下「喫煙場所」という）以外では行ってはならない。なお、喫煙場所には、その旨を掲示する。

(イ) 喫煙場所には、水等を入れた吸殻入れを準備する。

エ 延焼拡大防止

防火戸・防火シャッター等の周辺には、閉鎖の障害となる物品や延焼拡大の媒体となる可燃物等を放置しない。

(2) 相互連絡体制等

ア 防火管理者は、必要に応じて火災予防上必要な事項について、防火担当責任者と火元責任者に対して指導し、監督を行う。

イ 防火管理者は、工事関係者と相互に連絡体制を構築する。また、建築中の建物の管理権原が分かれている場合も同様とする。

第3条 地震対策

(1) 地震に備えての事前計画

ア 地震対策の責任者は、防火管理者とする。

イ 建築中の建物の倒壊、施設物の転倒、落下防止及び火気設備・器具からの出火防止を重点とし、次の予防装置を実施する。

(ア) 工事用資器材等の転倒防止措置

(イ) 工事用足場、資材の落下、飛散防止措置

(ウ) その他

建物・工作物等の安全確保のための点検と補強、火気設備・器具の点検と安全措置、危険物等の転倒・飛散防止措置

(2) 地震発生時の活動計画

ア 工事関係者は、揺れがおさまったら、直近の火気設備・器具等の元栓の閉止及び電気の遮断を行い、火元責任者はその状況を確認する。

イ 各設備器具等は、安全を確認した後に使用する。

ウ 工事責任者は、地震終了後、工事部分等を確認し、被害状況を防火管理者に報告する。

第4条 自衛消防隊

(1) 工事関係者による自衛消防隊を編成し、「自衛消防隊の編成表」（別紙9）を作成する。

(2) 編成表は、現場事務所や工事作業員の休憩室等の見えやすいところに掲示する。

(3) 各班及び班員は、工事現場の規模や作業員の数に応じて具体的に任務分担し、自衛消

防隊の活動内容を周知する。

第5条 防火管理業務についての消防機関との連絡

(1) 届出事項

種 別	届 出 の 時 期
工事中の消防計画 作成(変更)届出	工事中の消防計画を作成または変更したとき
自衛消防訓練実施の通報	訓練を実施する概ね1週間前まで

(2) 連絡事項

種 別	連 絡 の 時 期
消防用設備等の 代替措置等について	工事施工上やむを得ず機能を停止する場合、事前に消防機 関と連絡を密にし、火災予防上安全な措置を図る。
その他の変更事項について	変更を知り得た時点で連絡する。

第6条 避難経路の維持管理及び案内

(1) 避難経路の周知

防火管理者は、各防火担当責任者を通じ、工事部分の避難経路について周知するとともに、避難経路図(別紙10)を作成し、工事現場の目に付きやすい箇所に掲示する。

(2) 避難経路の管理

2方向の避難を原則確保し、避難経路に資材等の物品を置かないよう徹底管理する。

第7条 工事期間中の工事関係者への防火・防災教育

防火・防災教育の対象者、実施時期、実施内容は表のとおりとする。

対 象 者	実 施 時 期	実 施 内 容
全 員	工事開始前 毎日1回以上 作業開始前 週1回以上	1 工事中の消防計画 2 遵守事項の徹底 (1) 火気管理・喫煙管理 (2) 防火・避難施設等の維持管理 (3) 危険物等の管理 3 災害発生時の対応要領
防火担当責任者 火元責任者	工事開始前 毎日1回以上	1 工事中の消防計画 2 日常の火災予防の徹底 3 自主チェック表による自主検査の徹底 4 各自の任務分担と責任範囲 5 災害発生時における連絡体制の徹底

第8条 消火、通報及び避難誘導の訓練

防火管理者は、() に工事部分についての消火、通報及び避難の訓練を行うものとする。

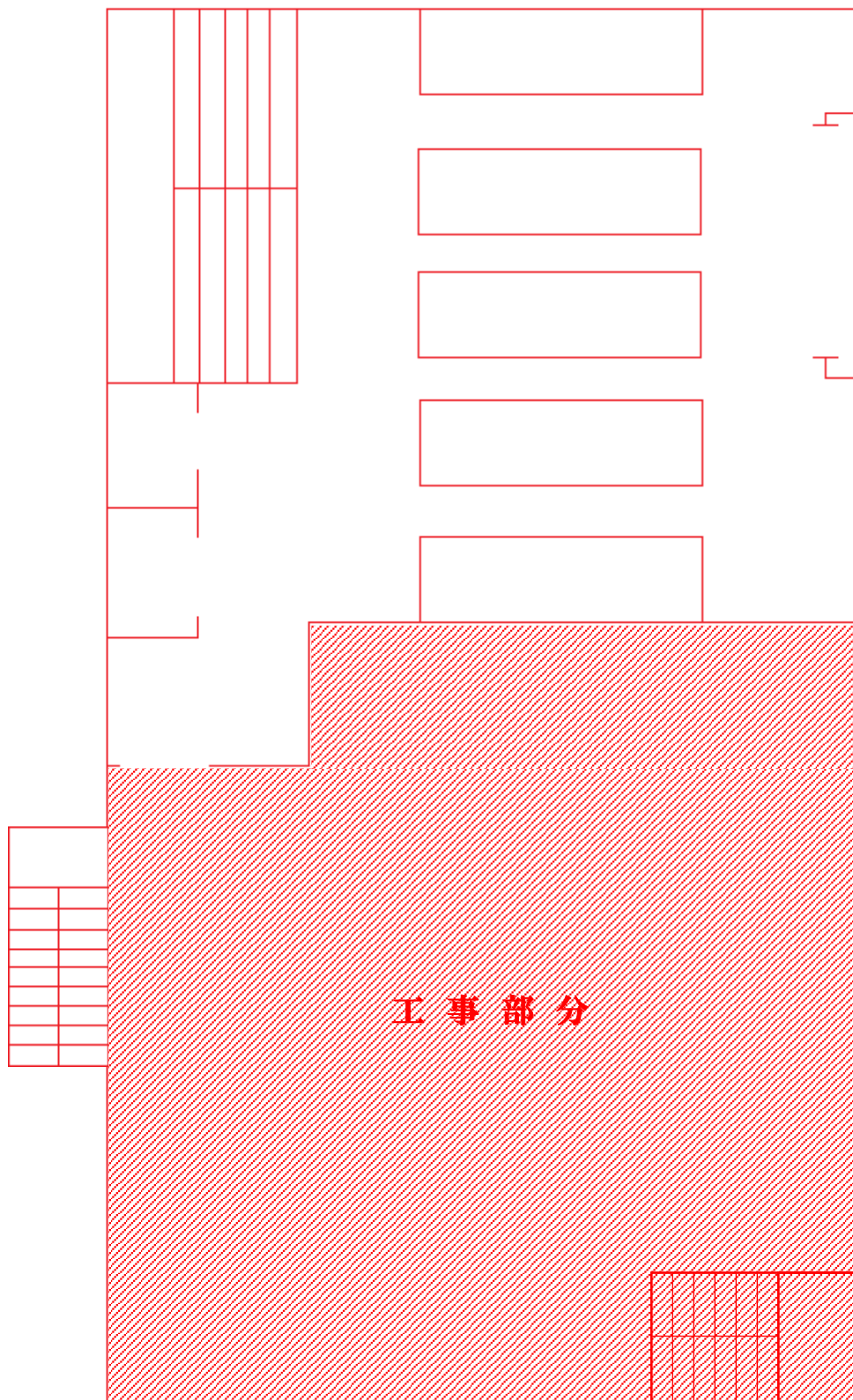
※特定防火対象物は消火及び避難誘導を含む訓練を1年に2回以上、非特定防火対象物は1年に1回以上実施すること。

工 事 工 程 表

(※工事工程を記入する。)

工 事 範 囲

1 階



機能に支障を生じる消防用設備等

種類・区域	支障を生じる期間	代替措置の概要
屋内消火栓設備 1階工事部分の全域	○月○日 ○○時○○分～ ○月○日 ○○時○○分	<ul style="list-style-type: none"> ・消火器○○本増設（設置位置は別添図面に記入する。）
自動火災報知設備 1階工事区域	○月○日 ○○時○○分～ ○月○日 ○○時○○分	<ul style="list-style-type: none"> ・感知器を仮設工事し機能確保（設置位置は別添図面に記入する。） ・発信機の機能確保
非常警報設備 1階工事区域	○月○日 ○○時○○分～ ○月○日 ○○時○○分	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設工事により機能確保 ・携帯用拡声器の備え付け
誘導灯 1階工事区域	○月○日 ○○時○○分～ ○月○日 ○○時○○分	<ul style="list-style-type: none"> ・移設し機能確保（設置位置は別添図面に記入する。）

機能に支障を生じる避難施設等

種類・区域	支障を生じる期間	代替等の措置概要
屋内階段 工事部分の南側階段	〇月〇日 〇〇時〇〇分～ 〇月〇日 〇〇時〇〇分	<ul style="list-style-type: none">・ 2階南側階段の誘導灯を移設し表示を変更・ 西側屋外階段へ避難誘導・ 避難経路図を掲示する。

火気使用設備・器具等の使用

種類・数量	使用場所	期間	使用者・安全員	設置方法等
電気溶接機 2台	工事区域内	○月○日～ ○月○日	○○ ○○ ○○ ○○	使用の都度搬入し、可燃物のない安全な場所に設置する。
ガス溶断機 2台	工事区域内	○月○日～ ○月○日	○○ ○○ ○○ ○○	
トーチランプ 1台	工事区域内	○月○日～ ○月○日	○○ ○○ ○○ ○○	
高速カッター 1台	工事区域内	○月○日～ ○月○日	○○ ○○ ○○ ○○	
電気サンダー 1台	工事区域内	○月○日～ ○月○日	○○ ○○ ○○ ○○	

危険物等を取り扱う作業

種類・数量	使用場所	期間	使用者・安全員	保管方法
合成樹脂エナメル塗料 (第4類第3石油類) 総量90L	工事区域内	○月○日～ ○月○日	○○ ○○ ○○ ○○	<ul style="list-style-type: none"> ・一時保管場所に保管する。 ・使用する場合は、使用する量を小出しにする。
合成樹脂塗料用シンナー (第4類第2石油類) 総量20L	工事区域内	○月○日～ ○月○日	○○ ○○ ○○ ○○	<ul style="list-style-type: none"> ・保管庫に収納し、施錠する。
壁用クロス等 30本	工事区域内	○月○日～ ○月○日		<ul style="list-style-type: none"> ・現場内のコンクリート床面に置く。 ・高積みしない。

日常の火災予防組織

防火管理者	防火担当責任者	業 務	火元責任者	業 務
防火 管理 者 遠 消 太 郎	現場 班長 〇〇 〇〇	1 防火管理者の補佐	現場事務所 兼休憩室 〇〇 〇〇	1 火気管理
		2 作業現場の監視	作業Aエリア 〇〇 〇〇	2 喫煙管理
	3 作業終了後の安全 確認		3 避難路の確保	
	4 作業現場の立入制 限	作業Bエリア 〇〇 〇〇	4 作業現場の整理整 頓	
	5 火元責任者の指導 監督		5 消火器の維持管理	
				6 地震時の初動措置
				7 その他

日常の自主検査チェック表

		検査項目										備考	
日	曜日	終業時の火気確認	終業時の吸殻確認	消火器の維持管理	避難経路の確保	危険物の保管状況	可燃物の管理状況	(例) 防火戸の閉鎖確認	(例) 防火シャッター閉鎖障害	(例) 終業時の施錠管理			不備事項の記入 改修状況記入 その他
		1	月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	火	○	○	○	○	○	○	△	○	○			資材放置直ちに撤去
3	水	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													
23													
24													
25													
26													
27													
28													
29													
30													
31													

その他に必要な検査項目があれば記入する。

(担当区域 工事A地区)

※青文字は、自主検査時の記入例であり、提出時に記入の必要はありません。

凡例 ○……良 ×……不備 △……即時改修

自衛消防隊の編成表

